

7月号!

町屋海岸で環境学習を行う環境ISO学生委員と北立誠小
学校四年生 〓 六月二十六日

第一回環境学習 を実施しました!

まもる便り



六月二十六日(火)に、町屋海岸で環境学習が行われました。環境ISO学生委員会からは12名参加し、からは四年生60人が参加しました。環境学習とは、町屋海岸が抱える問題や興味深い植物について、北立誠小学校の児童と共に考えていく活動です。

当日は過ごしやすいたく候で環境学習はスムーズに進みました。今回は12人程度の小学生たちのグループに環境ISO学生委員が2人レクチャーをする形で海浜植物の観察を行い、各植物の特徴なども説明しました。

小学生たちは海浜植物をはじめ、町屋海岸に生息する生物にも夢中になっていて、学生委員も元気な児童らと接することができ、有意義な活動ができました。



環境情報科学館一階に表示されているディスプレイ(写真右)と当時の出来事について学生を前に話す野田さん(写真左)と澤井さん(写真右) 〓 六月六日

発行年月日
2012年7月1日発行人
環境ISO学生委員会広報部
岡林 達哉編集者より
ひとこと

7月になりましたね。暑い日々が始まりましたがいかがお過ごしでしょうか? 前回の次号予告で「町屋海岸清掃」について取り上げると書きましたが、諸般の事情により中止となりました。申し訳ございません。

四日市公害判決四十周年記念写真展覧会 が開催されています

六月一日(金)から環境情報科学館一階で四日市公害四十周年記念写真展覧会が開催されています。この展示会では、四日市公害当時の塩浜地区の様子や喘息で苦しむ人々や生物の様子が鮮明に映し出された写真が数多く展示されています。

60年代に四日市コンビナートという日本の石油化学コンビナートが建設されました。これによって四日市市は急速に工業化されましたが、このコンビナート内での生産活動により大量の亜硫酸ガスが排出された。これによって公害患者と認定されていなくても軽度から重度の喘息症状に発症していた人は約5千人にのぼりました。

そして六月六日(水)「四日市公害から学ぶ四日市学」として13時から14時半にかけて「四日市公害の語り部と学生の交流会」が開かれました。判決から40年が経過し、現原告で生存するのは野田の一人となつてしまいました。その貴重なお話を学生たちは真剣な面持ちで聞き入っていました。

記事や環境ISO学生委員会についての

ご意見・要望はこちらまで

Mail:query@ceme.mie-u.ac.jp

環境ISO学生委員会

ホームページはこちら

http://www.ceme.mie-u.ac.jp/student/

こちらのQR
コードからも
アクセスでき
ます↓

次号予告!
七月六日に行われる「セタECOナイト」の様についてお届けします!

セタECOナイト

～つながろう人と光の環～

日時: 7月6日(金) 場所: 環境・情報科学館前広場